

2025年度JQAA総会 (リモート開催) 資料



2025年5月26日
JQAA理事会

1号議案：2024年度活動および収支報告の承認

- ① 2024年度各部活動
- ② 2024年度収支報告

2号議案：2025年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2025年度収支計画

3号議案：役員の選任

- ① 役員候補
- ② 役員体制

2024年度活動および収支報告の承認

- ① 2024年度各部活動
- ② 2024年度収支報告

■2024年度活動実績

●JQAAイベント

- ◇「JQAセルフアセッサー交流会 第6回Web分科会（無料）」：17名（板倉さんを含む）
 - ・日時：2024年7月30日(火) 18:00～19:30
 - ・講師：板倉未奈氏（日本動物医療センターグループ、グループCHRO、愛玩動物看護師）
- ◇「JQAセルフアセッサー交流会 第7回Web分科会（無料）」：25名（うちJQAA8名、講師1名）
 - ・日時：2024年11月27日(水) 18:30～20:00
 - ・講師：山本 貴之氏（医療法人社団厚済会 本部事務局 事務局長、診療技術部 部長）
- ◇「JQAA第4回講演会（有料）」：12名（内JQAA6名、講師1名、JQAC1名）
 - ・日時：2024年12月12日(木) 18:00～19:30
 - ・会場：ハイブリッド型（「Zoom利用によるオンライン形式」及び「リアル形式」）
 - ・講師：小笠原 敦 氏（滋賀医科大学 特任教授、静岡理工科大学 客員教授、政策研究大学院大学 リサーチフェロー）＊「リアル懇親会」を実施

●JQAC/JQAA連携会議

- ◇2024年4月15日（月）、13:00～13:40「2024年度の活動」について
 - ◇2024年5月24日（金）、11:00～12:00「交流会」について
 - ◇2024年8月22日（木）、13:00～14:00「後半計画」について
- ＊随時メールでのやり取り

●講師との打ち合わせ 各講師と実施（3回）

●講演部会議

随時開催、基本的にはメールベースで対応した。

■2024年度活動成果と課題

●全体総括

◇2024年度は「顧客価値経営フォーラム」での成果をJQAAイベントとして具現化でき関心の高さを実感できた。

◇JQAC/JQAA連携は新しく初めて「ハイブリッド形式」で開催され、新たな連携の形が実現できた。

●JQAAイベント（3回実施）

◇今年度も昨年に引き続き3回のイベントの開催が実現できた。

◇2024年度として「日本経営品質賞受賞テーマ」で開催することが出来た。

◇講演会（有料）は非常に満足度が高かったものの採算性は将来への課題となった。

●JQAC/JQAA連携会議（3回実施）

◇「顧客価値経営フォーラム」に関連したイベント開催を具体化でき連携は非常に活発だった。

◇ハイブリッド形式での講演会開催は初めてでありJQACのご支援は絶大であった。

●講演部会議

◇今年度は講演部会議がメール交換により円滑に推進することができた。

◇参加者の熱意に感謝・感謝であった。

●アンケート結果

＊別紙参照

1. アセッサージャーナル誌

- 2024年8月に、製本版と電子書籍版の第31号を発刊した。
- 製本版は執筆者などの関係者へ謹呈（41冊）するとともに、各地域の協議会から購入（166冊）があった。また、これまでのAJ誌同様、国立国会図書館に献本した。
- 電子書籍版は2度のJQAA通信を通じて広報したが、5冊の購入に留まり、販促方法については課題として残った。

2. 広報・IT関連

- JQAA通信（No.508-522）計15回、web交流会など講演会情報を発信した。
- Googleフォームを活用してweb交流会アンケートを実施した。
- 2025年3月末の運営委員は47名

2024年度収支報告

(単位 円)

1. 収入の部	①交流企画運営	10,000
	②ジャーナル発刊	160,938
	③IT・インフラ	0
	④その他	670
	合 計	171,608
2. 支出の部	①交流企画運営	34,930
	②ジャーナル発刊	110,331
	③IT・インフラ	102,695
	④その他	34,163
	合 計	282,119
3. 収支合計		▲ 110,511
4. 前期繰越金		1,330,548
5. 残高（繰越金）		1,220,037

< 残余資産 >

合計 ★2025年3月末実績値★ 16,460 円
 （上記はすべてアセッサージャーナル在庫147冊分）

2025年度活動計画の承認

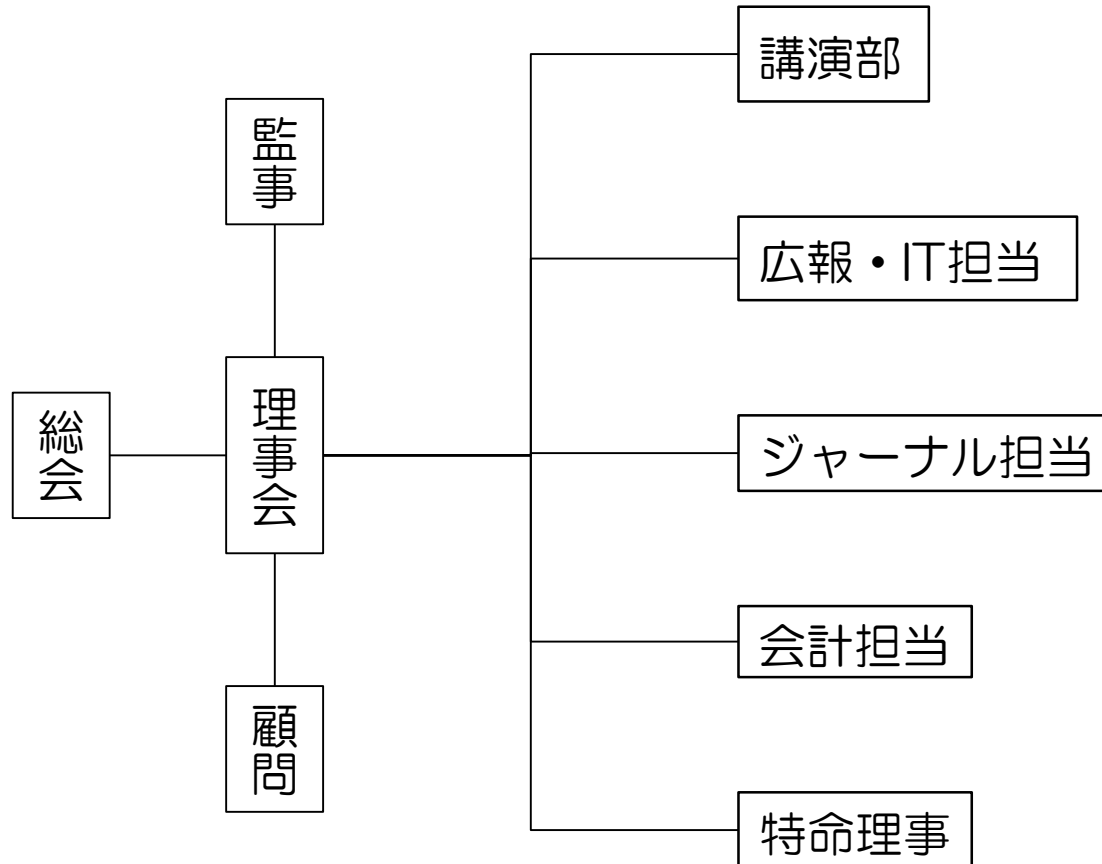
- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2025年度収支計画

<基本方針（前年度と同じ）>

企業・組織の経営革新及び自己研鑽のために、JQAセルフアセッサーに留まらない「知り合い・語り合う」気軽な情報交換・懇親の場づくりを推進する。

- ✓ 直接交流の場づくり推進
- ✓ JQAC及び各地域の経営品質協議会との連携深化
- ✓ 全国を視野に入れた運営委員の開拓
- ✓ ITを活用した集客

2025年度組織体制



■ 方針

- 企業・組織の経営革新及び自己研鑽を目指す方々へ、知識・知恵・情報を提供する。
 - 講演・セミナー、直接交流会開催による情報及び人的ネットワーク創出
 - 経営品質アセッサージャーナルを通じた情報提供
 - Webを活用した適時・適確の広報

■ 計画概要

- 講演部による講演・セミナー、直接交流会開催
- Web (<http://jqaa-net.com/>) の充実
- JQAA通信によるタイムリーな情報の発信
- 経営品質アセッサージャーナル第32号の企画・発刊
- 特命理事との連携方法の再構築

■ 方針

- 世界的な企業環境の変化にあたり、本質的な企業のありたい姿を追求し、柔軟かつ迅速な対応の実践
- 経営品質協議会（JQAC）を中心とした連携による提供価値の向上

■ 重点実施事項

- JQACとの連携による活動強化
 - 2024年度日本経営品質賞受賞企業の講演会
 - 2025年度JQAC「月例会」イベントの活用
 - 2025年度「経営デザイン」に関するテーマの推進
- セルフアセッサー及びOBの底上げのための活動創造
- リアル環境及びリモート環境を柔軟に活用した交流の拡大
- 「イベント活動プロセス」の改善

■ 企画

顧客価値経営ガイドラインに基づく受賞企業による事業活動並びに同活動に
焦点を当てた記事を集める。

■ 9月の発刊を目指す。

2025年度収支計画

(単位 円)

1. 収入の部	①交流企画運営	50,000
	②ジャーナル発刊	180,000
	③IT・インフラ	0
	④その他	0
	合 計	230,000
2. 支出の部	①交流企画運営	50,000
	②ジャーナル発刊	100,000
	③IT・インフラ	100,000
	④その他	20,000
	合 計	300,000
3. 収支合計		▲ 70,000
4. 前期繰越金		1,220,037
5. 残高（繰越金）		1,150,037

役員を選任

役員の専任

- ① 役員候補
- ② 役員体制

役員の選任

役員候補者

理事	北井 優康（再任）
理事	加藤 修明（新任）

2025年度体制

理事：13名、監事：2名、顧問：1名、特命理事：5名

理事長	道添 順一
副理事長	加藤 友成
副理事長	平本 洋
副理事長	柳本 直行
副理事長	北井 優康
理事	加藤 修明
理事	五味 由紀子
理事	渋谷 照夫

理事	高戸 祥子
理事	武谷 一寿
理事	田原 浩
理事	中野 康範
理事	三宅 邦之
監事	瀬川 和彦
監事	伊藤 将人
顧問	岡本 正耿

特命理事	笹川 良（福井）
特命理事	平井 嘉人（京都）
特命理事	藪本 剛（鳥取）

特命理事	鑪野 秀康（宮崎）
特命理事	二宮 直光（鹿児島）